



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 三菱地所株式会社
 コード番号 8802 URL <http://www.mec.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東 大 名

(氏名) 杉山 博孝
 (氏名) 高野 圭司

TEL 03-3287-5200

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	672,031	4.1	103,676	△7.9	82,930	△11.4	51,856	16.7
23年3月期第3四半期	645,801	0.8	112,592	30.2	93,563	51.2	44,449	27.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 76,961百万円 (183.3%) 23年3月期第3四半期 27,164百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	37.37	37.36
23年3月期第3四半期	32.02	32.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,332,463	1,368,461	28.9
23年3月期	4,245,209	1,315,047	28.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,252,562百万円 23年3月期 1,202,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,010,000	2.2	146,000	△7.7	110,000	△15.9	55,000	△14.4	39.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	1,390,397,097 株	23年3月期	1,390,397,097 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,598,889 株	23年3月期	2,596,617 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,387,803,806 株	23年3月期3Q	1,388,066,312 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月9日に公表いたしました連結業績予想につき、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、8ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、また、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 8
2. 四半期連結財務諸表	P. 9
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 15
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、営業収益が672,031百万円で前年同期に比べ26,229百万円の増収(+4.1%)、営業利益は103,676百万円で8,916百万円の減益(△7.9%)、経常利益は10,632百万円減益(△11.4%)の82,930百万円となりました。

特別損益につきましては、前年同期において投資有価証券評価損1,606百万円、減損損失2,236百万円及びエクイティ出資評価損1,385百万円を特別損失に計上したのに対して、当第3四半期においては、固定資産売却益2,008百万円を特別利益に、投資有価証券評価損4,305百万円、サービスアパートメント事業関連損3,620百万円を特別損失に計上しております。

この結果、税金等調整前四半期純利益は77,014百万円となり、四半期純利益は前年同期に比べ7,407百万円増益(+16.7%)の51,856百万円となりました。

当第3四半期(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の業績及び各セグメントの業績は次の通りであります。なお、当年度より当社の組織を一部改正したことに伴い、セグメント区分についても変更いたしました。前年度まで「資産開発事業」セグメントに含めていた投資マネジメント事業を「投資マネジメント事業」セグメントとして独立させた上で、「資産開発事業」セグメントの名称は「都市開発事業」セグメントに変更いたしました。また前年度まで「注文住宅事業」セグメントとして区分していた事業は「住宅事業」セグメントに集約しております。

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期	当第3四半期	増減
営業収益	645,801	672,031	26,229
営業利益	112,592	103,676	△8,916
経常利益	93,563	82,930	△10,632
四半期純利益	44,449	51,856	7,407

(単位：百万円)

	前第3四半期		当第3四半期	
	営業収益	営業利益又は 営業損失(△)	営業収益	営業利益又は 営業損失(△)
ビル事業	343,466	108,955	390,410	116,403
住宅事業	209,640	59	158,954	△7,858
都市開発事業	12,309	4,930	51,372	1,845
海外事業	35,989	9,134	30,222	6,052
投資マネジメント事業	3,434	1,664	3,475	1,101
設計監理事業	10,921	△499	11,015	△408
ホテル事業	21,677	429	18,785	△416
不動産サービス事業	19,263	△1,284	18,307	△1,258
その他の事業	2,454	255	2,462	35
調整額	△13,356	△11,051	△12,975	△11,819
合 計	645,801	112,592	672,031	103,676

(注) 前第3四半期の業績については、当年度より変更したセグメント区分に組替えております。

(a) ビル事業

- 当第3四半期においては、建物賃貸収益は前年同期に比べ減収となりましたが、「赤坂パークビル」の売却等により、その他収益が前年同期に比べ増収となりました。
なお、当社の平成23年12月末の空室率は4.72%となっております。
- この結果、当セグメントの営業収益は390,410百万円と前年同期に比べ46,943百万円増収となり、営業利益は前年同期に比べ7,448百万円増益の116,403百万円となりました。
- 平成20年からの10年間となる「第2ステージ」では、「第1ステージ」から取り組んできた丸の内再構築の更なる「拡がり」と「深まり」を目指し、「大手町・丸の内・有楽町地区」全域にその効果を波及させる計画です。なお、平成21年9月に新築工事に着手した「丸の内永楽ビルディング」は平成24年1月に竣工しました。
- 当年度の業績につきましては、営業収益5,070億円、営業利益1,470億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期		当第3四半期	
	貸付面積等	営業収益	貸付面積等	営業収益
建物賃貸	貸付面積	298,691	貸付面積	282,628
	(所有) 2,514,559㎡		(所有) 2,445,200㎡	
	(転貸) 1,070,543㎡		(転貸) 1,207,896㎡	
	合計 3,585,102㎡		合計 3,653,096㎡	
ビル運営管理受託	管理受託面積 1,595,070㎡	11,428	管理受託面積 1,788,846㎡	12,392
営繕請負工事	受注件数 4,555件	9,333	受注件数 4,819件	8,812
	完成件数 4,487件		完成件数 4,803件	
地域冷暖房事業	供給先 オフィスビル91棟 ホテル5棟 地下鉄16駅舎	6,664	供給先 オフィスビル90棟 ホテル5棟 地下鉄16駅舎	5,759
その他	—	17,349	—	80,817
合 計	—	343,466	—	390,410

(注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。

2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。

(b) 住宅事業

・マンション事業の主な売上計上物件

「横濱紅葉坂レジデンス」	マンション	(神奈川県横浜市)
「パークハウス東中野リヴゴーシュ」	マンション	(東京都中野区)
「ザ・パークハウス 南千里」	マンション	(大阪府吹田市)
「パークハウス代官山テラス」	マンション	(東京都渋谷区)
「ザ・パークハウス 小石川春日」	マンション	(東京都文京区)

- ・当第3四半期においては、マンション事業において、売上計上戸数が前年同期に比べ大幅に減少したため減収となりました。
- ・この結果、当セグメントの営業収益は158,954百万円と前年同期に比べ50,685百万円の減収となり、営業損益は前年同期に比べ7,917百万円悪化し、7,858百万円の損失を計上しました。
- ・当第3四半期の営業収益は通期見込みの約46%の水準となっておりますが、これはマンション等の竣工及び顧客への引渡しに年度末に集中する傾向にあることによる季節要因であります。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益3,440億円、営業利益35億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期		当第3四半期	
	販売数量等	営業収益	販売数量等	営業収益
マンション	販売戸数 3,374戸	130,243	販売戸数 2,183戸	99,065
住宅管理業務受託	受託件数 181,173件	23,171	受託件数 183,567件	22,634
注文住宅事業	—	20,977	—	20,269
その他	—	35,247	—	16,985
合 計	—	209,640	—	158,954

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。
3. 他社との共同事業物件の販売戸数及び金額は当社持分によっております。
4. 前第3四半期の業績については、当年度より変更したセグメント区分に組替えております。

(c) 都市開発事業

- ・当第3四半期においては、保有する物件を売却したこと等により、前年同期に比べ増収となりました。
- ・この結果、当セグメントの営業収益は51,372百万円と前年同期に比べ39,063百万円の増収となりましたが、収益用不動産の減収等により、営業利益は前年同期に比べ3,084百万円減益の1,845百万円となりました。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益580億円、営業利益10億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	営 業 収 益	
	前第3四半期	当第3四半期
都市開発	12,309	51,372
合 計	12,309	51,372

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
 2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。
 3. 前第3四半期の業績については、当年度より変更したセグメント区分に組替えております。

(d) 海外事業

- ・当第3四半期においては、米国の各都市や英国ロンドン市に保有する資産が安定的に稼働したことに加え、米国・英国における新規物件の取得が収益寄与したものの、米国・英国における物件売却収益の減少及び円高の影響により、前年同期に比べ減収となりました。
- ・この結果、当セグメントの営業収益は30,222百万円と前年同期に比べ5,766百万円の減収となり、営業利益は前年同期に比べ3,082百万円減益の6,052百万円となりました。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益380億円、営業利益70億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期		当第3四半期	
	貸付面積等	営業収益	貸付面積等	営業収益
不動産開発・賃貸	貸付面積 530,872㎡	33,382	貸付面積 576,481㎡	27,167
	管理受託面積 403,604㎡		管理受託面積 188,196㎡	
その他	—	2,607	—	3,055
合 計	—	35,989	—	30,222

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
 2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。

(e) 投資マネジメント事業

- ・当第3四半期において、当セグメントの営業収益は3,475百万円と前年同期並みとなり、営業利益は前年同期に比べ563百万円減益の1,101百万円となりました。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益50億円、営業利益20億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	営 業 収 益	
	前第3四半期	当第3四半期
投資マネジメント	3,434	3,475
合 計	3,434	3,475

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
 2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。
 3. 前第3四半期の業績については、当年度より変更したセグメント区分に組替えております。

(f) 設計監理事業

- ・(株)三菱地所設計においては、「新宿フロントタワー」(東京都新宿区)、「パークハビオ渋谷本町レジデンス」(東京都渋谷区)等の設計監理業務他を売上計上しました。
- ・当第3四半期においては、設計監理収益は売上件数が増加したものの1件当たりの売上高の減少により減収となりましたが、内装工事収益は増収となりました。
- ・この結果、当セグメントの営業収益は11,015百万円と前年同期に比べ93百万円増収となり、営業損益は前年同期に比べ90百万円改善したものの、408百万円の損失を計上しました。
- ・当第3四半期の営業収益は通期見込みの約58%の水準となっておりますが、これは業務の完成が下期、特に年度末に集中する傾向があることによる季節要因であります。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益190億円、営業利益10億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期		当第3四半期	
	売上件数等	営業収益	売上件数等	営業収益
設計監理	受注件数	658件	受注件数	668件
	売上件数	536件	売上件数	554件
内装工事	受注件数	118件	受注件数	121件
	売上件数	93件	売上件数	117件
その他	—	631	—	573
合 計	—	10,921	—	11,015

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。

(g) ホテル事業

- ・ホテル事業統括会社である(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツを中心に「ロイヤルパークホテルズ」のブランド名で展開するホテル事業の強化を図っており、平成23年7月に新たに「ロイヤルパークホテル ザ 福岡」、10月に「ロイヤルパークホテル ザ 京都」を開業いたしました。また、「仙台ロイヤルパークホテル」は、東日本大震災により営業を休止しておりましたが、9月に再開いたしました。
- ・この結果、当第3四半期においては、上記2ホテルの開業等があったものの、平成23年3月の東日本大震災の影響及び平成23年2月に「ロイヤルパークイン名古屋」の営業を終了したことにより、営業収益は18,785百万円と前年同期に比べ2,892百万円減収となり、営業損益は前年同期に比べ845百万円悪化し、416百万円の損失を計上しました。
- ・当年度の業績につきましては、営業収益260億円、営業利益0億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	営 業 収 益	
	前第3四半期	当第3四半期
宿泊部門	7,663	6,418
レストラン・バー部門	5,386	4,595
宴会部門	6,612	5,924
その他	2,015	1,846
合 計	21,677	18,785

- (注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。
2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。

(h) 不動産サービス事業

- 当第3四半期においては、平成23年1月の住宅分譲事業統合に伴い住宅販売受託事業が三菱地所リアルエステートサービス(株)から分割されたことにより、前年同期にあった当該事業の収益がなくなったため減収となりました。
- この結果、当セグメントの営業収益は18,307百万円と前年同期に比べ955百万円の減収となり、営業損益は前年同期に比べ25百万円改善したものの、1,258百万円の損失を計上しました。
- 当年度の業績につきましては、営業収益270億円、営業利益0億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期		当第3四半期	
	販売数量等	営業収益	販売数量等	営業収益
住宅販売受託	取扱件数 3,111件	3,848	取扱件数 —	—
不動産仲介	取扱件数 1,621件	4,620	取扱件数 1,961件	5,907
その他	—	10,793	—	12,400
合 計	—	19,263	—	18,307

(注) 1. 金額は消費税等抜きで表示しております。

2. 営業収益には、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含めております。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しについては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案の上、平成23年5月9日発表時から修正し、営業収益1兆100億円（前回予想比+330億円）、営業利益1,460億円（前回予想比+10億円）、経常利益1,100億円（前回予想比±0億円）、当期純利益550億円（前回予想比±0億円）を見込んでおります。

通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績予想は次の通りであります。

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	977,000	145,000	110,000	55,000	39円63銭
今回予想（B）	1,010,000	146,000	110,000	55,000	39円63銭
増減額（B－A）	33,000	1,000	—	—	—
増減率（%）	3.4	0.7	—	—	—
前期実績	988,447	158,258	130,830	64,219	46円27銭

営業収益及び営業利益は、住宅事業においてマンション引渡戸数が想定よりも上回ること等により、前回予想に比べ増加する見込みとなりました。

なお、各セグメントの営業収益及び営業利益の業績予想は次の通りであります。

（単位：百万円）

	前回予想（A）		今回予想（B）		増減額（B－A）	
	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益
ビル事業	507,000	147,000	507,000	147,000	—	—
住宅事業	311,000	3,000	344,000	3,500	33,000	500
都市開発事業	58,000	1,000	58,000	1,000	—	—
海外事業	38,000	7,000	38,000	7,000	—	—
投資マネジメント事業	5,000	2,000	5,000	2,000	—	—
設計監理事業	19,000	1,000	19,000	1,000	—	—
ホテル事業	26,000	0	26,000	0	—	—
不動産サービス事業	27,000	0	27,000	0	—	—
その他の事業	3,000	500	3,000	500	—	—
調整額	△17,000	△16,500	△17,000	△16,000	—	500
合計	977,000	145,000	1,010,000	146,000	33,000	1,000

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,688	156,415
受取手形及び営業未収入金	40,130	37,541
有価証券	5,094	1,272
販売用不動産	217,420	118,103
仕掛販売用不動産	324,713	391,188
開発用不動産	8,801	8,637
未成工事支出金	7,627	10,956
その他のたな卸資産	841	1,134
エクイティ出資	209,900	268,714
繰延税金資産	18,849	11,644
その他	42,361	59,752
貸倒引当金	△502	△1,050
流動資産合計	1,099,926	1,064,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,882,691	1,930,232
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,093,739	△1,138,705
建物及び構築物 (純額)	788,952	791,526
機械装置及び運搬具	80,066	81,712
減価償却累計額及び減損損失累計額	△58,490	△60,956
機械装置及び運搬具 (純額)	21,575	20,755
土地	1,613,702	1,681,978
信託土地	245,091	302,813
建設仮勘定	35,516	65,533
その他	37,755	39,069
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,288	△26,872
その他 (純額)	12,467	12,197
有形固定資産合計	2,717,305	2,874,805
無形固定資産		
借地権	86,802	84,958
その他	8,578	7,589
無形固定資産合計	95,381	92,548
投資その他の資産		
投資有価証券	183,318	150,164
長期貸付金	1,726	1,661
敷金及び保証金	97,238	99,677
繰延税金資産	5,847	6,117
その他	46,571	45,221
貸倒引当金	△2,105	△2,042
投資その他の資産合計	332,596	300,800
固定資産合計	3,145,283	3,268,154
資産合計	4,245,209	4,332,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	76,113	38,692
短期借入金	75,507	80,634
1年内返済予定の長期借入金	201,885	150,649
コマーシャル・ペーパー	—	90,000
1年内償還予定の社債	36,330	76,158
未払法人税等	15,857	4,519
繰延税金負債	1	—
その他	127,210	133,995
流動負債合計	532,906	574,648
固定負債		
社債	530,000	550,000
長期借入金	788,097	823,958
受入敷金保証金	374,719	367,426
繰延税金負債	214,060	196,296
再評価に係る繰延税金負債	332,181	285,241
退職給付引当金	15,322	15,650
役員退職慰労引当金	587	643
負ののれん	79,074	82,226
その他	63,210	67,909
固定負債合計	2,397,254	2,389,353
負債合計	2,930,161	2,964,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,373	141,373
資本剰余金	170,485	170,485
利益剰余金	449,889	493,900
自己株式	△4,390	△4,381
株主資本合計	757,358	801,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,021	31,999
繰延ヘッジ損益	△254	△287
土地再評価差額金	458,297	490,315
為替換算調整勘定	△61,151	△70,843
その他の包括利益累計額合計	444,912	451,184
新株予約権	381	451
少数株主持分	112,395	115,448
純資産合計	1,315,047	1,368,461
負債純資産合計	4,245,209	4,332,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	645,801	672,031
営業原価	478,784	514,543
営業総利益	167,017	157,487
販売費及び一般管理費	54,424	53,810
営業利益	112,592	103,676
営業外収益		
受取利息	321	253
受取配当金	2,851	3,397
負ののれん償却額	734	626
持分法による投資利益	612	479
その他	2,182	1,591
営業外収益合計	6,703	6,347
営業外費用		
支払利息	18,721	17,364
固定資産除却損	5,060	4,897
その他	1,951	4,831
営業外費用合計	25,733	27,093
経常利益	93,563	82,930
特別利益		
固定資産売却益	—	2,008
特別利益合計	—	2,008
特別損失		
投資有価証券評価損	1,606	4,305
減損損失	2,236	—
エクイティ出資評価損	1,385	—
サービスアパートメント事業関連損	—	3,620
特別損失合計	5,228	7,925
税金等調整前四半期純利益	88,334	77,014
法人税、住民税及び事業税	12,919	17,345
法人税等調整額	25,691	△2,404
法人税等合計	38,611	14,941
少数株主損益調整前四半期純利益	49,723	62,072
少数株主利益	5,273	10,216
四半期純利益	44,449	51,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,723	62,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,575	△16,023
繰延ヘッジ損益	△139	△37
土地再評価差額金	0	40,868
為替換算調整勘定	△11,856	△9,923
持分法適用会社に対する持分相当額	11	4
その他の包括利益合計	△22,558	14,888
四半期包括利益	27,164	76,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,242	66,977
少数株主に係る四半期包括利益	4,921	9,983

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,334	77,014
減価償却費	53,052	49,536
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,001	387
有価証券売却損益(△は益)	△290	△30
有価証券評価損益(△は益)	1,606	4,305
エクイティ出資評価損	1,385	—
減損損失	2,236	372
社債発行費	41	296
のれん償却額	2,069	2,712
持分法による投資損益(△は益)	△612	△479
引当金の増減額(△は減少)	△25	832
受取利息及び受取配当金	△3,173	△3,650
支払利息	18,721	17,391
売上債権の増減額(△は増加)	△6,007	△110
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,780	34,782
エクイティ出資の増減額(△は増加)	7,228	△60,193
前渡金の増減額(△は増加)	△1,395	△2,004
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	257	△2,419
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,599	△44,927
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,519	△4,723
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△6,559	△7,453
その他	7,547	21,585
小計	153,119	83,223
利息及び配当金の受取額	3,358	3,877
利息の支払額	△19,322	△17,631
法人税等の支払額	△8,080	△25,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,075	43,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	72	112
定期預金の預入による支出	△46	△46
有価証券の売却及び償還による収入	99	1,005
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,000
有形固定資産の売却による収入	112	6,986
有形固定資産の取得による支出	△50,324	△239,367
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,019	362
投資有価証券の取得による支出	△2,935	△922
借地権の取得による支出	—	△62
短期貸付金の回収による収入	14	13
短期貸付けによる支出	△2	△5
長期貸付金の回収による収入	57	67
長期貸付けによる支出	△39	△25
共同事業による収入	26,245	826
共同事業による支出	△1,824	△1,123
その他	△1,155	△608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,707	△233,787

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,225	6,600
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	90,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,052	△1,054
長期借入れによる収入	222,457	177,982
長期借入金の返済による支出	△259,758	△189,652
社債の発行による収入	17,371	79,703
社債の償還による支出	△27,348	△20,000
自己株式の純増減額 (△は増加)	△89	△11
配当金の支払額	△16,657	△16,653
少数株主への配当金の支払額	△3,458	△3,677
その他	△9,738	△3,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,500	120,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,311	△2,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,555	△72,742
現金及び現金同等物の期首残高	177,825	229,062
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△66
合併による現金及び現金同等物の増加額	—	607
現金及び現金同等物の四半期末残高	179,380	156,868

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。